

暮らしの コーディネート

～第30回

家族で家事を楽しむ住まい

手間のかかる家事は
妻まかせ？

これまでの研究から、脳がつかさどる性格や能力には男女差がなく、体や臓器の機能には明確な違いがあることがわかってきています。こうした「性の違い」を科学的に正しく理解し、医療や商品開発に生かそうという取り組みが広が



りをみせています。

日常生活においても、ジェンダーが現れやすい夫婦の家事シェアについて分析されていて、「男だから、女だから」という固定概念に縛られず、「自分が得意なことをする」「自分らしく」「どちらかに偏りが無いように」という、それぞれの思いを尊重する動きがみられます。しかしまだ日本では、家族内の「家事分担」は浸透しつつも、手間のかかる家事は妻まかせという傾向がいまだに多いのも事実です。

家事シェアしやすい
住まいへ

新しい生活様式に伴って、家で過ごす時間が長くなったことで、家事

もおのずと増えたといわれます。そこで、誰か一人ではなく、家族みんなが家事に参加することで、暮らしにゆとりを持たせるといって「家事シェア」の考え方が住宅メーカーなどにも広がっています。家族みんなが使いやすい「ボードレス」な住まいを目指し、間取りや設備をひと工夫するだけで、自然と家事に取り組めるようになります。

例えばキッチン。誰もが使いやすい食洗機やIHコンロなどを採用することはもちろん、通路幅や調理スペースを広く確保したり、回遊性のあるレイアウトにするなど間取りそのものを整えることもオススメです。